



中央アジア Central Asia 今昔映画祭



Kazakhstan Kyrgyzstan Tajikistan
Uzbekistan Turkmenistan Afghanistan

2021.12

December



主催・配給：トレノバ tenova

協力：梶山祐治、グロマリエフ・シラリ、ゲルディエワ・ミヴェゴゼル

ユーロスペース、キノフィルムズ

パブリシティ：スリーピン

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

ARTS
ARTS for the future!

中央アジア Central Asia 今昔映画祭

9作品、8プログラムで 中央アジアを俯瞰する、 温故知新のシネマトリップ。



日本初公開

テュベティカをかぶった天使

Angel v tyubetyke

監督・脚本：シャケン・アイマノフ 脚本：ヤコフ・ジスキント
出演：アミナ・ウルムザコワ、アリムガズィ・ラインベコフ、ビビグリトッレゲノフ、ピケン・リモワ
ン連／1968年／カザフ語、ロシア語／カラー／88分

カザフ映画の父と称されるS・アイマノフの代表作の1本。中央アジアの風景とソビエト建築が並ぶ大都市アルマトィを舞台にした、貴重な中央アジア製ミュージカル。当時のファッションやダンス・ミュージックも見どころ。

地理の教師タイラクは、親切で思いやりがあり、常に伝統的な帽子テュベティカを手放さないことから、皆に「テュベティカの天使」と呼ばれている。ある日、母親が彼に会いに田舎からアルマトィにやってくる。コスモポリタンな大都会に圧倒されつつも、彼女は息子の花嫁を探すために大胆な行動を開始するが…。



日本初公開

ジャミリヤー

Dzhamillya

監督：イリーナ・ボブラフスカヤ 脚本：チンギス・アイトマートフ
出演：ナタリヤ・アリンバサロフ、スィメンクル・チョクモロフ、ボロト・ベシエナリエフ
ナレーション：チンギス・アイトマートフ
ン連／1969年／ロシア語、キルギス語／モノクロ＋カラー／78分

原作はキルギスの世界的文豪・アイトマートフの「この星でいちばん美しい愛の物語」。雄大な自然を背景に、迫力の乗馬シーンや野心的な演出を随所に盛り込んだメロドラマ。「キルギスの奇跡」と呼ばれる黄金時代の幕開けを予告する1本。

出征した夫を待つジャミリヤーは、夫の弟である少年セイトたちと暮らしている。彼女のことが大好きなセイトは、男達が近づくに割って入り邪魔をする。彼女は悲しみと孤独に苦悩しつつも明るく振舞っていたが、村に負傷兵ダニヤルが現れ、心が揺れはじめる。やがて二人の魂は結びついていき…。



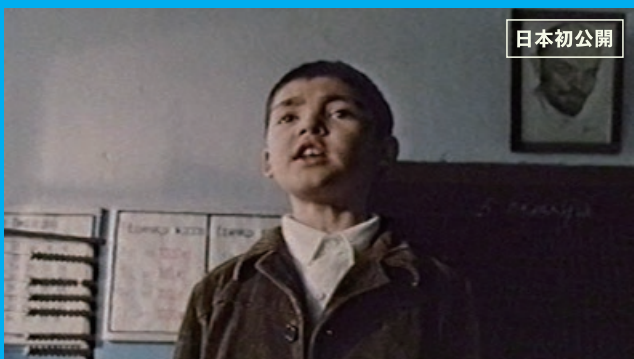
少年、機関車に乗る

Bratan

監督・脚本：パフティヤル・フドイナザーロフ 脚本：レオニード・マフカモフ
出演：ティムール・トルスノフ、フィリス・サブザリエフ、ナビ・ベクムラトフ、アロヴッディン・アブドゥラエフ
ン連／1991年／ロシア語、タジク語／モノクロ／100分（作品提供：ユーロスペース）

中央アジアの大平原を機関車で行く兄弟の珍道中。ユーモラスな詩情にあふれたレール・ロードムービーの最高傑作。タジキスタンが誇る巨匠、パフティヤル・フドイナザーロフ（「ルナ・ハバ」）のデビュー作。

仲間と悪さをして過ごす17歳のファールと、土を食べる癖を持つ7歳のアザマットの兄弟は、祖母と3人暮らし。兄弟はある日、遠くに住む父親に会うため機関車に乗って旅に出る。トラックとの競争や、ボットをたくさん持った変なおじさんの出現、悪ガキの襲撃などなど、機関車はハプニングに遭遇しながらもガタゴトと走っていく。



日本初公開

黄色い雄牛の夜

The Night of the Yellow Bull / The Children of the Earthquake

監督：ムラト・アリエフ 脚本：ブラート・マンズーロフ、アシルムラト・マミリエフ
出演：マクサト・ボラトフ、アクゴセル・ヌリエフ、タチマド・マドヴェリエフ、ロラン・ピコフ
トルクメニスタン、ロシア／1996年／ロシア語、トルクメン語／カラー／121分

カンヌ国際映画祭のコンペ候補となるも、本国トルクメニスタンで上映禁止処分を受け、お蔵入りとなった幻の傑作。首都アシガバートの人口3分の2が犠牲になった1948年の地震とその時代を回想した、壮大な愛の群像劇。

少年セルダルは優しい母や兄弟と幸せに暮らしている。音楽の才あるヌリエフや家族同然のアルダルなど友達にも恵まれ、学校で問題が起きれば、人格者のチャバイ校長が上手く取りなしてくれる。だが時はスターリン政権下。ある日、不穏分子として説まれていた祖父が当局に連行され、皆の尊敬を集めるペルズノフを目につけられる。そして、運命の時が迫る…。



日本初公開

海を待ちながら

Waiting for the sea

監督：パフティヤル・フドイナザーロフ 脚本：セルゲイ・アシケナージ
出演：エゴール・ペロエフ、アナスタシア・ミクリチナ、デトレフ・ブック、ドニム・ハメド・アヒモフ
ロシア、ベルギー、フランス、カザフスタン、ドイツ、タジキスタン／2012年／ロシア語／カラー／110分

2015年に急逝したフドイナザーロフの遺作。半世紀で10分の1にまで干上ってしまった、カザフスタンとウズベキスタンにまたがる大湖・アラル海を舞台に、彼の中央アジア人としての思いが投影された壮大な夢の物語。

船長のマラットはアラル海を航海中に大嵐に遭遇し、妻や仲間を失い、一人生き残った。心に傷を負った彼はある決意を胸に、今では干上ってしまった海に戻り、荒野に佇む自分の船と対面する。そして船を引きずって水のない海を横断する無謀な旅に出る。贖罪を求め彷徨うマラットはどこに行き着くのか。



同時上映

日本初公開

40日間の沈黙

40 Days of Silence

監督・脚本：サオダート・イスマイロフ 脚本：ウルグベク・サディコフ
出演：ルシャナ・サディコワ、バロハド・ジャクロフ、サオダート・ラフミノフ、ファリダ・オリモフ
ウズベキスタン、オランダ、ドイツ、フランス／2014年／タジク語、アラビア語／カラー／88分

中央アジアで人生の節目に行われる儀式、40日間の沈黙の誓いを通して描かれる、伝統と今、幻想と現実が交錯する世界。ウズベキスタンの気鋭の映像作家が美しく瞑想的な映像で紡ぐ、女性たちの内なる闘いの物語。

山奥の孤立した村。ビビチャは「沈黙の誓い」を立てるため祖母の家に身を寄せる。家には叔母の幼い娘が同居しており、街からは叔母が出戻ってくる。そして葛藤を抱えた四世代の女性がつづ屋根の下に住むことに。過去に縛られ、今は恐怖や疑いに苦悩するビビチャ。彼女は沈黙の旅の末に何を見つけるのか。

彼女の権利

Her Right

監督：サオダート・イスマイロフ
ウズベキスタン／2020年／モノクロ／15分

1920年代から1980年代にかけてウズベキスタンで撮影された映画に映る女性たちをコラージュして作成された短編作品。スターリン政権下の同国で新しい労働力を生み出すために行われた女性解放運動「フジウム」を中心に構成された、イスラーム教徒の女性の歴史を見つめる15分。



©2018 - KINODVOR, PALLAS FILM, OTTER FILMS, EURASIA FILM PRODUCTION, JUBEN PICTURES, ZDF

アイカ

Ayka

監督・脚本：セルゲイ・ヴォルツェヴォイ 脚本：ゲンナー・ジイ・オストロフスキー
出演：サマル・エスリヤモフ、ジハバルグリ・アブディラエフ、セルゲイ・マズル、ダヴィド・アラヴェルジャン
ロシア、ドイツ、ポーランド、カザフスタン、中国、フランス／2018年／ロシア語、キルギス語
カラー／114分（作品提供：キノフィルムズ）

第71回カンヌ国際映画祭女優賞受賞作。手持ちカメラの臨場感あふれる映像で描かれる一人の女性の厳しい現実。2000年代以降にロシアで急増した中央アジア移民労働者の実態をリアルに映し出した緊迫のドラマ。

25歳のキルギス人女性アイカは、モスクワの病院で出産するが、生まれたばかりの子供を残して病院から姿を消す。借金を抱える彼女は職を得ようとするが、ロシアでの労働許可の期限は既に切れており、まともな仕事に就くことができない。やがて、借金取りに返済を迫られた彼女は、ある決断をする。



日本劇場初公開

カープルの孤児院

The Orphanage

監督・脚本：ジャフル・バヌ・サダト
出演：グドラトラ・カディリ、セディカ・ラスリ、マシフラ・フェラージ、ハシブラ・ラソーリ
デンマーク、フランス、ルクセンブルク、アフガニスタン
2019年／タリ語、ロシア語、ヒンディー語、ウルドゥー語／カラー／90分

1991年生まれのアフガン人監督が描く、思春期の少年達の群像劇。今に続くアフガニスタンの諸問題が見える。ハリウッド映画を踏襲したミュージカルシーンや、中央アジアの文化要素が入ったシーンなど、アジアの交差点の特色も映える。

1989年、長年にわたって軍事介入していたソ連軍の撤退が迫る中、街の映画館は相変わらず賑わっている。インド映画が大好きなドラットは学校にも行かずダフ屋をしていたところを捕まり、孤児院に入れられる。そこには不良もいるが、理解ある教師がいて、親友もでき、モスクワにも行ける。だが、国には新たな混乱が訪れようとしていた。

中央アジアとは

中央アジアはユーラシア大陸中央部の内陸地域で、カザフスタン、キルギス（クルグズスタン）、タジキスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタンの5カ国が該当する。加えて、中国の新疆ウイグル自治区は中央アジアと不可分の関係にあり、タタルスタンやバシコルスタンといったロシアのムスリム地域、アフガニスタンとも非常に深いつながりを持っている。

東アジアと西のイスラーム・西欧世界の交点にあった中央アジアは、テュルク系遊牧集団による征服やイスラーム化といった歴史を経て、複雑に文化が交わる場所として長い道のりを歩んできた。20世紀は長くソビエト連邦の支配下において社会主義体制をとってきたが、1991年のソ連崩壊と前後して5カ国が独立国となり、以後、国際社会での存在感を増している。現在、資源や観光、そして文化など様々な観点から大きな注目を集めているエリアである。



1991年12月、ソビエト連邦崩壊。崩壊と前後して、中央アジア5カ国が独立。それから30年——
欧州・中東・アジアの歴史・文化が交わる、多様性のるつぼ。中央アジアの世界へようこそ。

開催劇場&日程

12/11(土) ▶ 12/31(金)	12/11(土) ▶ 12/24(金)
東京 ユーロスペース 03-3461-0211	神奈川 横浜シネマリン 045-341-3180
12月	12/10(金) ▶ 12/16(木)
愛知 名古屋シネマテーク 052-733-3959	京都 出町座 075-203-9862
12/18(土) ▶ 12/24(金)	12/4(土) ▶ 12/10(金)
大阪 第七藝術劇場 06-6302-2073	兵庫 元町映画館 078-366-2636

料金：一般1,500円(税込)

各種割引料金は劇場によって異なりますので、劇場にお問い合わせください。

上映スケジュール、イベント等の情報は公式HP、SNSにて随時発表いたします。

WEB <https://trenova.jp/centralasia>

Twitter @chuo_asia

Facebook @central.asia.films

